



四日市市立西朝明中学校

令和7年度 第25号
令和8年3月25日(水)

にしあさけ

🏠 令和7年度修了式～1年生名118名・2年生98名進級～ 🎉

3月25日(水)は西朝明中学校・令和7年度修了式でした。修了式では「修了」という言葉の意味(学業の課程を修め、終えること)を伝え、1年生は1年生としての課程を、2年生は2年生としての課程を修了し、進級で



きることを祝う大切な式であることを伝えました。

式の中では、卒業式の式辞で取り上げた内容に触れ、「原点」を持つことの大切さと、「正解」は一つではないという趣旨で下記のような話をしました。

音楽家のショパンが戦争を避けるために故郷を離れ、音楽活動を続ける中で、作曲した多くの高名な曲は、彼の故郷ポーランドの民族音楽の要素が含まれた曲が多いのです。このように青春時代を過ごす故郷での経験は、その人の原点となることが多いです。西朝明中で学ぶ者、共通の原点として、「愛・誠・心」の精神がその一つとなります。仲間を思いやる「愛」。目の前の課題にまっすぐ向き合う「誠」。自らを磨き続ける「心」。その一つひとつを、何かに迷ったり、戸惑ったりする時に立ちかえる原点とすることで、困ったときに自分を支えてくれる大切な力になるはずです。



もう一つは「正解」についてです。世の中の多くのことに対して「正解」は一つではないと思っています。イランやウクライナの情勢を見ても、一つの答えを正しいと固執することは不幸の始まりだと思います。これからの時代を生き抜いていく生徒たちにとって、「正解のない問いに向き合う」力はとても重要です。私たちは今後、かつて経験したことのない社会を生き抜いていかねばなりません。西朝明中学校での学びの中でICT活用実践をとおして、世界中の知識にアクセスし、正確な情報を見分ける力を手に入れてください。論理的思考力を高める取り組みの中で、多様な方面から考える力を手に入れてください。探究的に学ぶ経験を通して、これから出会う、正解がない問いに粘り強く取り組む心を手に入れてください。

みなさんの将来についても答えは一つではありません。ものの見方を変えれば、正しいものも変わります。考え方を変えれば、結論は違ってきます。自分自身の「心」をしっかり見つめ、仲間を思いやる「愛」を胸に、物事にまっすぐに向き合い「誠」を尽くしながら、これからも皆さんの力を、西朝明中学校で磨いていきましょう。

♡ 年度末の学年行事 ♡

23日には学年のお別れ行事として、それぞれの室長会を中心に企画を考え学年行事を行いました。



2年生は学年レク(しっぽ取りゲーム・伝言ジェスチャーゲーム・バスケットボール)で残り少ない2年生を楽しんでいました。また、学年集会では室長会が1年間の振り返りを行いました。来月になれば最高学年となり、学校を引っ張って

いく立場になります。楽しむときは全力で楽しみ、学ぶときは全力で学ぶ。メリハリのある生活で、充実した3年生となるよう、春休みで、心を整えて欲しいです。



1年生は学年集会で3学期に取り組んだ人権学習のアウトプットとして取り組んだ人権啓発ポスターの発表をクラス代表者が行い、その後に室長たちが1年間の振り返りを行いました。その後、学年レク(ジェスチャーゲーム・伝言ジェ

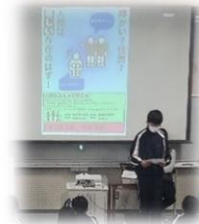
スチャーゲーム・〇×クイズ)も行い、体を動かしながら1年生最後の時間を

過ごしました。いよいよ後輩が入ってきます。立派な行動で引っ張っていきことができる先輩になってください。



24日は1年間お世話になった教室や廊下などを感謝の心を込めて大掃除しました。

いよいよ新しい学年へ進級です。素晴らしい令和8年度を迎えられるように、春休み中もしっかりと自己を磨き続けてください。



★ 表彰伝達 ★

美し国三重 県連支部選抜 中学生2026代表 対抗ソフトテニス大会

準優勝：松井さん 安齋さん 近藤さん

第62回三泗小中学校美術展覧会 美術作品出品

青山さん 加藤さん 桐山さん 田村さん 伊藤さん 山田さん

平山さん 吉本さん 谷さん 森さん 小川さん

長濱さん 三上さん 國保さん 敷波さん 藤井さん

第46回三重県小中学校書初め展

入選：田村さん 北川さん 一色さん 奥野さん 小川さん 中条さん

佳作：中川さん

バレーボール三泗選手権大会：Aブロック優勝

バレーボール一年生大会：経験者リーグ準優勝